

STAGE+を楽しむ(289)(HP 収載)
—モンテヴェルディ合唱団のバロック音楽—

1. 始めに

前報(288)に引き続き、STAGE+のモンテヴェルディ合唱団のバロック音楽の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のモンテヴェルディ合唱団のバロック音楽の演奏を選びました。モンテヴェルディ合唱団が届ける珠玉のバロック音楽
モンテヴェルディ合唱団とイングリッシュ・バロック・ソロイストの演奏会をエディンバラ・フェスティバルから収録配信でお届けします。プログラムの幕開けを飾るのは、パーセル作曲による美しい《わが祈りを聞きたまえ、主よ》と感動的な葬送音楽。音楽一族出身のヨハン・クリストフ・バッハによるモテットの傑作の数々を経て、若きヘンデルが1707年にイタリアで書いた名曲《主は言われた》が演奏されます。モンテヴェルディ合唱団が設立以来60年以上にわたって、独自のレパートリーとして探求してきた音楽を存分にお楽しみいただけることでしょう。

ソリスト:

ゾーエ・ブルックショウ (ソプラノ)、クロエ・モーガン (ソプラノ)、レジナルド・モブリー (アルト)、ヒューゴ・ハイマス (テノール)、フローリアン・シュテルツ (バス)

演奏:

イングリッシュ・バロック・ソロイスト、モンテヴェルディ合唱団

指揮:

ジョナサン・セルズ

曲目:

ヘンリー・パーセル 《わが祈りを聞きたまえ、主よ》 Z.15

ヘンリー・パーセル メアリー女王の葬送ための音楽 Z. 860

ヨハン・セバスティアン・バッハ 《聖霊はわれらの弱きを助けたもう》 BWV 226

ヨハン・クリストフ・バッハ 《ああ、私の頭が水で満ちていたなら》(ラメント)

ヨハン・セバスティアン・バッハ 《主に向かって新しき歌をうたえ》 BWV 225

ヘンリー・パーセル 《主よ、わが敵の何と多きことか》 Z. 135

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル 《主は言われた》 HWV 232



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って適用した **LAN iPurifier Pro** の電源を **iPowe2** に交換しています。

今回は、PC の受信から **GPS-777** クロック入力 **SWD-DA20** に送り出しています。

パーセル、バッハ、ヘンデルの合唱の宗教曲に定評のあるモンテヴェルディ合唱団の演奏で、静かな曲から力強い盛り上がりまで、ハーモニーは崩れません。ソリスト達の声の張りも明晰です。

指揮は、いつものエリオット・ガーディナーでなく、ジョナサン・セルズで、アンサンブルは、左側にオルガン、右側にチェンバロ、中央にリュートが位置取り、これらの通奏低音とともに落ち着いた音色で歌唱を支えます。

アンコール曲は、バッハの「わが命今やつき」のアリアでした。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、モンテヴェルディ合唱団によるバロック音楽の合唱の真髄を味わえました。

以上